

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (隔月決算・予想分配金提示型) 愛称：プレミアバリュー

追加型投信／海外／株式

第12期(決算日2025年7月15日) 第13期(決算日2025年9月16日) 第14期(決算日2025年11月17日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2044年5月16日まで (信託設定日: 2023年6月16日)
運 用 方 針	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
主 資 対 象	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (隔月決算・予想分配金提示型) アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド
組 入 制 限	アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (隔月決算・予想分配金提示型) アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信(隔月決算・予想分配金提示型)」は、このたび第14期の決算を行いました。

ここに、第12期から第14期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電 話 番 号 03-5962-9687

(受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額				株組式比率	株先物比率	投資信託券組入比率	純資産額
		税分	分配	み金	期騰落率				
(設定日) 2023年6月16日	円 10,000	円 —	—	—	% —	% —	% —	% —	百万円 35
1期(2023年9月15日)	10,582	100		6.8	88.4	—	—	2.5	767
2期(2023年11月15日)	10,484	100		0.0	91.8	—	—	2.1	1,385
3期(2024年1月15日)	10,665	100		2.7	91.5	—	—	2.2	2,059
4期(2024年3月15日)	11,470	200		9.4	91.1	—	—	2.1	5,615
5期(2024年5月15日)	11,974	300		7.0	94.6	—	—	1.9	8,298
6期(2024年7月16日)	12,088	300		3.5	94.7	—	—	1.0	10,220
7期(2024年9月17日)	10,806	100	△	9.8	94.4	—	—	1.0	10,445
8期(2024年11月15日)	12,158	300		15.3	95.6	—	—	0.9	13,542
9期(2025年1月15日)	11,659	200	△	2.5	95.4	—	—	0.8	16,037
10期(2025年3月17日)	10,728	100	△	7.1	93.4	—	—	0.8	18,226
11期(2025年5月15日)	10,480	100	△	1.4	96.1	—	—	1.0	18,885
12期(2025年7月15日)	10,881	100		4.8	95.8	—	—	0.9	19,918
13期(2025年9月16日)	10,861	200		1.7	96.6	—	—	0.8	19,774
14期(2025年11月17日)	11,147	200		4.5	97.9	—	—	0.8	19,562

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

※ベンチマークおよび参考指数について

当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していないため、掲載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	託券率
		騰落率	%				
第12期	(期首) 2025年5月15日	円 10,480	% —	% 96.1	% —	% —	% 1.0
	5月末	10,322	△1.5	95.4	—	—	1.0
	6月末	10,683	1.9	96.2	—	—	1.0
	(期末) 2025年7月15日	10,981	4.8	95.8	—	—	0.9
第13期	(期首) 2025年7月15日	10,881	—	95.8	—	—	0.9
	7月末	10,944	0.6	94.9	—	—	0.9
	8月末	11,005	1.1	95.3	—	—	0.8
	(期末) 2025年9月16日	11,061	1.7	96.6	—	—	0.8
第14期	(期首) 2025年9月16日	10,861	—	96.6	—	—	0.8
	9月末	10,993	1.2	97.5	—	—	0.8
	10月末	11,286	3.9	98.9	—	—	0.8
	(期末) 2025年11月17日	11,347	4.5	97.9	—	—	0.8

(注) 各期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

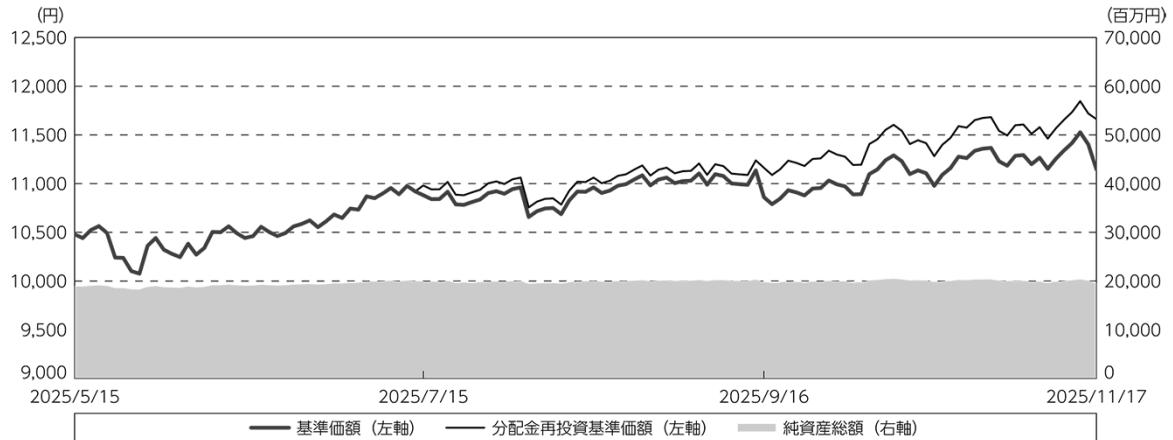
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信（隔月決算・予想分配金提示型）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

(2025年5月16日～2025年11月17日)



第12期首：10,480円

第14期末：11,147円（既払分配金（税込み）：500円）

騰落率： 11.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年5月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前作成期末比で上昇しました。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・保有する資本財・サービス関連銘柄やヘルスケア関連銘柄の株価上昇
- ・円安米ドル高となったこと

投資環境

(2025年5月16日～2025年11月17日)

【株式市場】

米国株式市場は、前作成期末比で上昇しました（米ドルベース）。

当作成期初はやや下落して始まったものの、その後上値を追う展開となり、2025年10月下旬には主要3株価指数が最高値を更新しました。米国と主要貿易相手国間の関税協議の進展や、米連邦準備理事会(FRB)による利下げ、好調な企業業績、AI関連の大型契約および開発提携の発表を背景とするハイテク株の上昇などが株価を後押ししました。一方で、中東情勢の緊迫化や7月の雇用統計の軟化、トランプ大統領による対中関税の大幅引き上げの警告などは、株価の下落要因となりました。11月以降当作成期末にかけては、AI関連株への高値警戒感から、株価はやや調整しました。

【為替市場】

前作成期末比で円安米ドル高となりました。

当作成期初から2025年5月下旬にかけては、米国の財政赤字拡大懸念や関税政策に対する不透明感から、円高米ドル安となりました。その後7月にかけては、米国の関税による日本国内のインフレ圧力や参議院議員選挙後の財政悪化が懸念され、円が売られる展開となりましたが、8月以降は、米国の利下げ期待が高まり円高米ドル安となりました。10月に入ると、高市政権の財政運営が拡張的になるとの思惑から円安米ドル高が進みました。その後当作成期末にかけては、日本銀行（日銀）による追加利上げの見送りに加えて植田総裁の発言がハト派的と受け止められ、さらに円安米ドル高が進みました。

運用概況

(2025年5月16日～2025年11月17日)

【当ファンド】

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される米国株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

【マザーファンド】

綿密なファンダメンタルズ分析に基づき、株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される企業に選別投資を行います。運用にあたっては、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指しました。

その結果、セクター配分においては、ヘルスケア・セクター、金融セクター、資本財・サービス・セクターが上位となりました。

＜マザーファンドのセクター別組入比率＞

前作成期末（2025年5月15日現在）

セクター	比率
金融	22.8%
ヘルスケア	18.5%
資本財・サービス	15.8%
生活必需品	9.0%
情報技術	8.8%
その他	22.2%
現金等	2.9%

当作成期末（2025年11月17日現在）

セクター	比率
ヘルスケア	20.6%
金融	19.1%
資本財・サービス	16.3%
一般消費財・サービス	9.8%
情報技術	9.1%
その他	23.9%
現金等	1.3%



（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

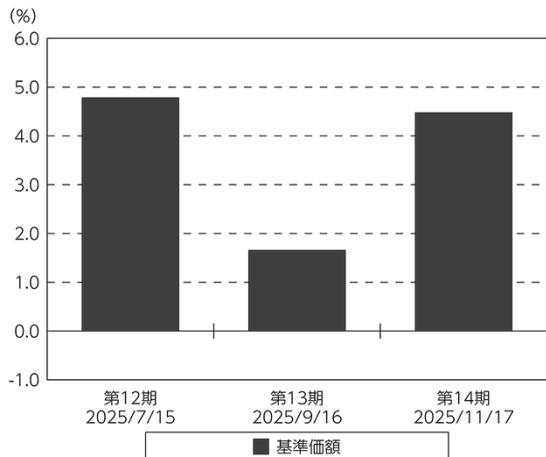
個別銘柄では、シスコシステムズなどを新たに組み入れたほか、アジレント・テクノロジー、シェブロンなどを買い増しました。一方、フィリップ・モリス・インターナショナルや、ウォルマート、ジョンソン・エンド・ジョンソンなどを一部売却しました。株式の組入比率は作成期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年5月16日～2025年11月17日）

当ファンドは、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2025年5月16日～2025年11月17日)

当造成期間の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金については以下をご覧ください（当造成期間合計：500円）。なお、収益分配に充てなかつた利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第12期	第13期	第14期
	2025年5月16日～ 2025年7月15日	2025年7月16日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年11月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.911%	200 1.808%	200 1.763%
当期の収益	31	24	106
当期の収益以外	68	175	93
翌期繰越分配対象額	1,145	970	1,147

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

【当ファンド】

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

【マザーファンド】

利下げの再開や堅調な企業利益見通しなどが株式市場を支えるとみています。一方で、足もと、高ベータ株（市場全体の動きよりも大きく変動する傾向がある銘柄）や、モメンタム株（株価の値動きに勢いがある銘柄）が、収益力が強いなど質が高いクオリティ株をアウトパフォームしており、市場の過熱には引き続き警戒しています。さらに、S&P500株価指数の主要構成銘柄の一部には割高なバリュエーションが見られ、同指数のバリュエーションは近年の最高値付近まで押し上げられています。こうした状況が反転局面を迎えた場合、バリュー株にとって有利な状況となるとみています。

マザーファンドでは、徹底したファンダメンタルズ・リサーチに基づき、“プレミアバリュー企業”を発掘する方針を維持しています。プレミアバリュー企業とは、優れたビジネスによりキャッシュを多く創出しているにもかかわらず、株式市場の評価の歪みにより低く評価された企業です。マザーファンドの保有銘柄は、フリーキャッシュフロー利回りが高く、収益の変動が小さく、レバレッジが低いという魅力的なファンダメンタルズを保持している企業です。このような優れた経営を行う企業は、資本を賢く配分し、配当を増やし、株式の長期的な価値を高めることができます。

引き続き、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年5月16日～2025年11月17日)

項目	第12期～第14期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 93	% 0.856	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(46)	(0.420)	委託した資金の運用、基準価額の発表等の対価
（販売会社）	(46)	(0.420)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の提供等、口座内のファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b)売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
（株式）	(1)	(0.008)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) その他の費用	2	0.017	(c)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他の）	(1)	(0.014)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、計理業務関係費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・提供等および届出に係る費用等
合計	96	0.881	
作成期間中の平均基準価額は、10,872円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

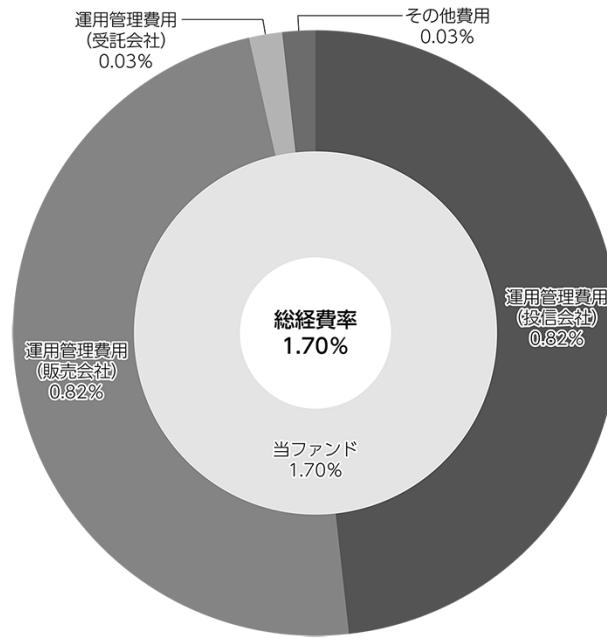
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

（参考情報）

○総経費率

作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成対象期間の平均受益権口数に作成対象期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月16日～2025年11月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第12期～第14期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アライアンス・バーンスタイル・米国割安株マザーファンド	千口 652,292	千円 867,991	千口 1,782,199	千円 2,489,750

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2025年5月16日～2025年11月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第12期～第14期	
	アライアンス・バーンスタイル・米国割安株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額		40,873,695千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額		46,100,272千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.88

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月16日～2025年11月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月17日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第11期末		第14期末	
	口 数	千口	口 数	評 価 額
アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド	14,631,727	千口	13,501,820	千円 19,554,686

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年11月17日現在)

項 目	第14期末	
	評 価 額	比 率
アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド	千円 19,554,686	% 97.3
コール・ローン等、その他	541,141	2.7
投資信託財産総額	20,095,827	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドにおいて、第14期末における外貨建純資産（47,431,329千円）の投資信託財産総額（47,457,022千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、第14期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=154.70円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第12期末	第13期末	第14期末
	2025年7月15日現在	2025年9月16日現在	2025年11月17日現在
(A) 資産	円	円	円
コール・ローン等	20,176,302,149	20,214,526,269	20,095,827,661
アライアンス・バーンスタイル・米国割安株マザーファンド(評価額)	20,419,660	11,925,968	28,550,909
未収入金	19,734,582,291	19,773,150,186	19,554,686,475
未収利息	421,300,000	429,450,000	512,590,000
(B) 負債	円	円	円
未払収益分配金	257,788,895	439,768,722	533,261,135
未払解約金	183,061,489	364,130,739	350,987,672
未払信託報酬	19,984,990	16,862,796	124,343,591
その他未払費用	53,823,560	57,796,161	57,081,462
918,856	979,026	848,410	
(C) 純資産総額(A-B)	19,918,513,254	19,774,757,547	19,562,566,526
元本	18,306,148,948	18,206,536,971	17,549,383,633
次期繰越損益金	1,612,364,306	1,568,220,576	2,013,182,893
(D) 受益権総口数	18,306,148,948口	18,206,536,971口	17,549,383,633口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,881円	10,861円	11,147円

(注) 第12期首元本額18,019,686,358円、第12~14期中追加設定元本額1,395,631,220円、第12~14期中一部解約元本額1,865,933,945円。第14期末現在における1口当たり純資産額1,1147円。

○損益の状況

項目	第12期	第13期	第14期
	2025年5月16日～ 2025年7月15日	2025年7月16日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年11月17日
(A) 配当等収益	円 5,895	円 8,869	円 10,340
受取利息	5,895	8,869	10,340
(B) 有価証券売買損益	967,514,978	385,513,797	902,698,744
売買益	976,197,929	393,898,604	933,265,784
売買損	△ 8,682,951	△ 8,384,807	△ 30,567,040
(C) 信託報酬等	△ 54,742,416	△ 58,775,187	△ 57,929,872
(D) 当期損益金(A+B+C)	912,778,457	326,747,479	844,779,212
(E) 前期繰越損益金	△1,659,010,127	△ 901,337,155	△ 657,595,575
(F) 追加信託差損益金	2,541,657,465	2,506,940,991	2,176,986,928
(配当等相当額)	(2,017,882,391)	(2,009,512,824)	(1,702,460,038)
(売買損益相当額)	(523,775,074)	(497,428,167)	(474,526,890)
(G) 計(D+E+F)	1,795,425,795	1,932,351,315	2,364,170,565
(H) 収益分配金	△ 183,061,489	△ 364,130,739	△ 350,987,672
次期繰越損益金(G+H)	1,612,364,306	1,568,220,576	2,013,182,893
追加信託差損益金	2,541,657,465	2,263,083,635	2,013,182,893
(配当等相当額)	(2,018,561,175)	(1,766,210,348)	(1,538,936,382)
(売買損益相当額)	(523,096,290)	(496,873,287)	(474,246,511)
分配準備積立金	78,554,103	—	—
繰越損益金	△1,007,847,262	△ 694,863,059	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第12期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(57,967,015円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(2,018,561,175円)および分配準備積立金額(203,648,577円)より分配対象収益額は2,280,176,767円(10,000口当たり1,245円)であり、うち183,061,489円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

(注) 第13期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(44,082,430円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(2,010,067,704円)および分配準備積立金額(76,190,953円)より分配対象収益額は2,130,341,087円(10,000口当たり1,170円)であり、うち364,130,739円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

(注) 第14期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(39,363,467円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(147,820,170円)、および収益調整金額(2,176,986,928円)より分配対象収益額は2,364,170,565円(10,000口当たり1,347円)であり、うち350,987,672円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第12期	第13期	第14期
1万口当たり分配金（税込み）	100円	200円	200円

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。（各決算期ごとに計算されます。）

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について

- ・分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い

- ・元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- ・普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）

※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。



ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド

第5期(決算日2025年11月17日)

(計算期間: 2025年5月16日~2025年11月17日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
主要運用対象	米国の金融商品取引所上場企業の株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式比率	株式比率	投資信託券率	純資産額
	期騰落	中率				
(設定日) 2023年6月16日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 69
1期(2023年11月15日)	10,848	8.5	91.8	—	2.1	5,677
2期(2024年5月15日)	13,196	21.6	94.6	—	1.9	24,458
3期(2024年11月15日)	14,326	8.6	95.6	—	0.9	37,949
4期(2025年5月15日)	12,907	△ 9.9	96.1	—	1.0	46,571
5期(2025年11月17日)	14,483	12.2	97.9	—	0.8	46,216

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式比率	株式比率	投資信託券率	
	騰落	率				
(期首) 2025年5月15日	円 12,907	% —	% 96.1	% —	% 1.0	
5月末	12,721	△ 1.4	95.3	—	—	1.0
6月末	13,185	2.2	96.0	—	—	1.0
7月末	13,649	5.7	94.8	—	—	0.9
8月末	13,744	6.5	95.1	—	—	0.8
9月末	14,005	8.5	97.5	—	—	0.8
10月末	14,398	11.6	98.8	—	—	0.8
(期末) 2025年11月17日	14,483	12.2	97.9	—	—	0.8

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークおよび参考指数について
当マザーファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していないため、掲載しておりません。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド(以下「当マザーファンド」といいます。)の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2025年5月16日～2025年11月17日)

○基準価額等の推移

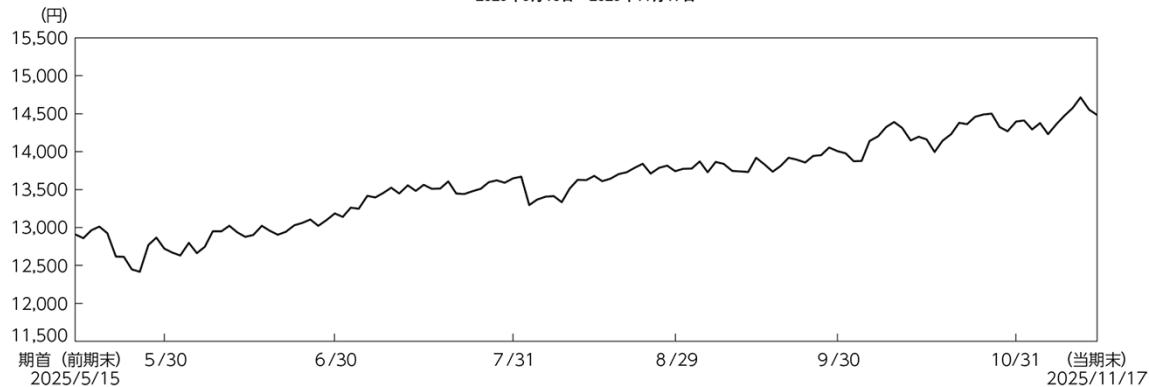
基準価額は前期末比で上昇しました。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・保有する資本財・サービス関連銘柄やヘルスケア関連銘柄の株価上昇
- ・円安米ドル高となったこと

当期中の基準価額の推移
2025年5月16日～2025年11月17日



投資環境

(2025年5月16日～2025年11月17日)

【株式市場】

米国株式市場は、前期末比で上昇しました(米ドルベース)。

期初はやや下落して始まったものの、その後上値を追う展開となり、2025年10月下旬には主要3株価指数が最高値を更新しました。米国と主要貿易相手国間の関税協議の進展や、米連邦準備理事会(FRB)による利下げ、好調な企業業績、AI関連の大型契約および開発提携の発表を背景とするハイテク株の上昇などが株価を後押ししました。一方で、中東情勢の緊迫化や7月の雇用統計の軟化、トランプ大統領による対中関税の大幅引き上げの警告などは、株価の下落要因となりました。11月以降期末にかけては、AI関連株への高値警戒感から、株価はやや調整しました。

【為替市場】

前期末比で円安米ドル高となりました。

期初から2025年5月下旬にかけては、米国の財政赤字拡大懸念や関税政策に対する不透明感から、円高米ドル安となりました。その後7月にかけては、米国の関税による日本国内のインフレ圧力や参議院議員選挙後の財政悪化が懸念され、円が売られる展開となりましたが、8月以降は米国の利下げ期待が高まり円高米ドル安となりました。10月に入ると、高市政権の財政運営が拡張的になるとの思惑から円安米ドル高が進みました。その後期末にかけては、日本銀行(日銀)による追加利上げの見送りに加えて植田総裁の発言がハト派的と受け止められ、さらに円安米ドル高が進みました。

運用概況

(2025年5月16日～2025年11月17日)

当マザーファンドは、主として株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される米国株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。綿密なファンダメンタルズ分析に基づき、株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される企業に選別投資を行います。運用にあたっては、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指しました。

その結果、セクター配分においては、ヘルスケア・セクター、金融セクター、資本財・サービス・セクターが上位となりました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前期末 (2025年5月15日現在)

セクター	比率
金融	22.8%
ヘルスケア	18.5%
資本財・サービス	15.8%
生活必需品	9.0%
情報技術	8.8%
その他	22.2%
現金等	2.9%



当期末 (2025年11月17日現在)

セクター	比率
ヘルスケア	20.6%
金融	19.1%
資本財・サービス	16.3%
一般消費財・サービス	9.8%
情報技術	9.1%
その他	23.9%
現金等	1.3%

(注) 組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

個別銘柄では、シスコシステムズなどを新たに組み入れたほか、アジレント・テクノロジー、シェブロンなどを買い増しました。一方、フィリップ・モリス・インターナショナルや、ウォルマート、ジョンソン・エンド・ジョンソンなどを一部売却しました。株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

今後の運用方針

利下げの再開や堅調な企業利益見通しなどが株式市場を支えるとみています。一方で、足もと、高ベータ株(市場全体の動きよりも大きく変動する傾向がある銘柄)や、モメンタム株(株価の値動きに勢いがある銘柄)が、収益力が強いなど質が高いクオリティ株をアウトパフォームしており、市場の過熱には引き続き警戒しています。さらに、S&P500株価指数の主要構成銘柄の一部には割高なバリュエーションが見られ、同指数のバリュエーションは近年の最高値付近まで押し上げられています。こうした状況が反転局面を迎えた場合、バリュー株にとって有利な状況となるとみています。

当マザーファンドでは、徹底したファンダメンタルズ・リサーチに基づき、“プレミアバリュー企業”を発掘する方針を維持しています。プレミアバリュー企業とは、優れたビジネスによりキャッシュを多く創出しているにもかかわらず、株式市場の評価の歪みにより低く評価された企業です。当マザーファンドの保有銘柄は、フリーキャッシュフロー利回りが高く、収益の変動が小さく、レバレッジが低いという魅力的なファンダメンタルズを保持している企業です。このような優れた経営を行う企業は、資本を賢く配分し、配当を増やし、株式の長期的な価値を高めることができます。

引き続き、優れたビジネスを有する企業を魅力的な株価で取得することにより、長期的に安定したリターンを創出することを目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2025年5月16日～2025年11月17日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	円 1 (1) (0)	% 0.008 (0.008) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(b) その他の費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	(b) その他の費用＝期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、13,617円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月16日～2025年11月17日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株 10,887	千米ドル 121,932	百株 14,981	千米ドル 152,466

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ PUBLIC STORAGE	470	138	3,060	877

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2025年5月16日～2025年11月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	40,924,717千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	46,100,272千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.88

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月16日～2025年11月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月17日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ…ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
AT&T INC	756	1,921	4,916	760,535	電気通信サービス	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	144	427	6,279	971,437	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ALLISON TRANSMISSION HOLDING	168	158	1,295	200,426	資本財	
CENCORA INC	188	144	5,230	809,142	ヘルスケア機器・サービス	
ELEVANCE HEALTH INC	204	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	261	237	12,085	1,869,672	金融サービス	
BLACKSTONE SECURED LENDING FUND	640	—	—	—	金融サービス	
BORGWARNER INC	360	612	2,741	424,157	自動車・自動車部品	
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	444	262	2,234	345,639	素材	
CACTUS INC - A	243	334	1,392	215,346	エネルギー	
CARLISLE COS INC	26	—	—	—	資本財	
CHARLES RIVER LABORATORIES	—	206	3,457	534,806	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CHEVRON CORP	262	425	6,709	1,037,994	エネルギー	
CITIGROUP INC	731	639	6,414	992,336	銀行	
CONOCOPHILLIPS	388	299	2,734	423,016	エネルギー	
CURTISS-WRIGHT CORP	43	26	1,448	224,066	資本財	
DICK'S SPORTING GOODS INC	219	184	3,985	616,505	一般消費財・サービス流通・小売り	
WALT DISNEY CO/THE	—	497	5,260	813,796	メディア・娯楽	
EOG RESOURCES INC	682	435	4,805	743,375	エネルギー	
FTI CONSULTING INC	96	—	—	—	商業・専門サービス	
FISERV INC	500	—	—	—	金融サービス	
GENERAC HOLDINGS INC	382	196	2,974	460,124	資本財	
GENUINE PARTS CO	—	153	1,952	302,039	一般消費財・サービス流通・小売り	
HCA HEALTHCARE INC	101	70	3,328	514,903	ヘルスケア機器・サービス	
HELMERICH & PAYNE	433	—	—	—	エネルギー	
ITT INC	—	189	3,497	541,115	資本財	
JPMORGAN CHASE & CO	461	469	14,267	2,207,189	銀行	
JOHNSON & JOHNSON	811	785	15,384	2,379,970	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JONES LANG LASALLE INC	—	103	3,126	483,615	不動産管理・開発	
LOWE'S COS INC	98	259	5,917	915,400	一般消費財・サービス流通・小売り	
MGIC INVESTMENT CORP	610	399	1,126	174,305	金融サービス	
MSA SAFETY INC	—	15	242	37,475	商業・専門サービス	
MSC INDUSTRIAL DIRECT CO-A	225	275	2,383	368,695	資本財	
MASTERCARD INC - A	65	89	4,894	757,202	金融サービス	
METLIFE INC	551	319	2,513	388,885	保険	
NIKE INC -CL B	359	341	2,188	338,593	耐久消費財・アパレル	
OTIS WORLDWIDE CORP	308	296	2,635	407,779	資本財	
PPG INDUSTRIES INC	263	—	—	—	素材	
PAYCOM SOFTWARE INC	—	55	929	143,784	商業・専門サービス	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	787	444	6,903	1,067,959	食品・飲料・タバコ	
PHILLIPS 66	293	154	2,193	339,302	エネルギー	
QUEST DIAGNOSTICS INC	305	220	4,129	638,810	ヘルスケア機器・サービス	
RAYMOND JAMES FINANCIAL INC	—	168	2,680	414,669	金融サービス	
RTX CORPORATION	701	591	10,386	1,606,825	資本財	
RESMED INC	—	118	2,884	446,289	ヘルスケア機器・サービス	

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等
		株数	株数	評価額	外貨建金額	
(アメリカ…ニューヨーク市場)		百株	百株	千米ドル	千円	
S&P GLOBAL INC	160	83	4,144	641,125		金融サービス
SALESFORCE INC	—	195	4,759	736,243		ソフトウェア・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	245	159	4,541	702,563		半導体・半導体製造装置
UBER TECHNOLOGIES INC	—	272	2,494	385,975		運輸
US FOODS HOLDING CORP	—	325	2,332	360,890		生活必需品流通・小売
UNITEDHEALTH GROUP INC	—	160	5,156	797,763		ヘルスケア機器・サービス
VERALTO CORP	503	483	4,777	739,093		商業・専門サービス
WABTEC CORP	211	142	2,912	450,546		資本財
WALMART INC	1,049	799	8,195	1,267,864		生活必需品流通・小売
WELLS FARGO&COMPANY	765	703	5,980	925,256		銀行
YUM! BRANDS INC	—	221	3,307	511,693		消費者サービス
ALLEGION PLC	130	146	2,358	364,851		資本財
AXIS CAPITAL HOLDINGS LTD	641	276	2,831	437,957		保険
ACCENTURE PLC-CL A	291	—	—	—		ソフトウェア・サービス
NVENT ELECTRIC PLC	349	126	1,352	209,189		資本財
(アメリカ…店頭市場)						
ALIGN TECHNOLOGY INC	—	78	1,078	166,890		ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL C	—	179	4,974	769,478		メディア・娯楽
APA CORP	—	887	2,199	340,265		エネルギー
CSX CORP	1,103	753	2,631	407,070		運輸
CASEY'S GENERAL STORES INC	76	51	2,746	424,865		生活必需品流通・小売
CISCO SYSTEMS INC	—	1,005	7,843	1,213,405		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COMCAST CORP-CL A	1,628	—	—	—		メディア・娯楽
ELECTRONIC ARTS INC	294	159	3,215	497,414		メディア・娯楽
META PLATFORMS INC-A	—	28	1,710	264,653		メディア・娯楽
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	436	230	1,687	261,067		ヘルスケア機器・サービス
GILEAD SCIENCES INC	733	423	5,296	819,422		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	341	100	1,640	253,781		運輸
INTEL CORP	648	—	—	—		半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH CORP	204	51	763	118,050		半導体・半導体製造装置
LANDSTAR SYSTEM INC	45	182	2,302	356,229		運輸
LULULEMON ATHLETICA INC	80	—	—	—		耐久消費財・アパレル
MONDELEZ INTERNATIONAL A	346	—	—	—		食品・飲料・タバコ
NETAPP INC	—	131	1,436	222,261		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NICE LTD - SPON ADR	154	—	—	—		ソフトウェア・サービス
PACCAR INC	290	266	2,548	394,315		資本財
POOL CORP	—	73	1,781	275,566		一般消費財・サービス流通・小売
REGENERON PHARMACEUTICALS	127	84	5,842	903,764		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROSS STORES INC	227	320	5,152	797,021		一般消費財・サービス流通・小売
STARBUCKS CORP	431	—	—	—		消費者サービス
STEEL DYNAMICS INC	223	221	3,442	532,480		素材
TEXAS INSTRUMENTS INC	372	245	3,911	605,141		半導体・半導体製造装置
ULTA BEAUTY INC	119	40	2,117	327,637		一般消費財・サービス流通・小売
UNITED THERAPEUTICS CORP	79	38	1,790	276,919		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	34	159	3,825	591,787		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
(アメリカ…OTCBB市場)						
ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS ADR	962	—	—	—		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
合計	株数・金額	26,437	22,343	292,616	45,267,701	
銘柄	株数・金額	69	75	—	<97.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) PUBLIC STORAGE	10,890	8,300	千米ドル 2,276	千円 352,152	% 0.8
合計	10,890	8,300	2,276	352,152	
銘柄	口数	金額	1	1	<0.8%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年11月17日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 45,267,701	% 95.4
投資証券	352,152	0.7
コール・ローン等、その他	1,837,169	3.9
投資信託財産総額	47,457,022	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (47,431,329千円) の投資信託財産総額 (47,457,022千円) に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=154.70円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月17日現在)

項目	当期末
(A) 資産	48,740,463,478 円
コレル・ローン等	1,593,808,306
株式(評価額)	45,267,701,943
投資証券(評価額)	352,152,582
未収入金	1,496,779,534
未取配当金	30,020,864
未収利息	249
(B) 負債	2,524,316,965
未払金	1,283,606,965
未払解約金	1,240,710,000
(C) 純資産総額(A-B)	46,216,146,513
元本	31,909,846,338
次期繰越損益金	14,306,300,175
(D) 受益権総口数	31,909,846,338口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,483円

(注) 期首元本額36,081,906,288円、期中追加設定元本額1,364,438,635円、期中一部解約元本額5,536,498,585円。当期末現在における1口当たり純資産額1,4483円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているペビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

<組入元本額の内訳>

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (年2回決算型)

18,408,025,945円

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 (隔月決算・予想分配金提示型)

13,501,820,393円

○損益の状況 (2025年5月16日～2025年11月17日)

項目	当期
(A) 配当等収益	395,104,599 円
受取配当金	384,397,617
受取利息	10,706,982
(B) 有価証券売買損益	5,171,677,395
売買益	7,979,214,261
売買損	△ 2,807,536,866
(C) 保管費用等	△ 1,330,177
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,565,451,817
(E) 前期繰越損益金	10,490,084,080
(F) 追加信託差損益金	431,115,693
(G) 解約差損益金	△ 2,180,351,415
(H) 計(D+E+F+G)	14,306,300,175
次期繰越損益金(H)	14,306,300,175

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。